大館市政だより
第五十七号
（毎月一回発行）
発行所　秋田県大館市役所
編集兼発行人　竹内福哉

盛大に復興祭

八月九日から十日間

市では八月九日から十八日までの十日間に亘って、盛大な復興祭絵巻をくりひろげることになり商工課を中心に目下準備に大わらわです。

この祭典は一つ火災復興を祝うだけでなく、商業祭や市制施行七周年を記念して行おうというものです。

過去にさかのぼって、今日これを行うことの経緯といったものをみると、話しはあまり結構なことでないので、少くとも自慢にもなりませんが大館が市制を施行した二十六年には大水害、続いて二十八年四月には片町官庁街の大火災に三度も相次いだ火災のため市制施行の記念祭はもとより商業祭なども行に至らず、この七周年というもの災害の復興と眼まぐるしい日日を重ねて今日を迎えるに至りました。

幸い焦土に立ったときの市長の復興への決意は燃焼された四千二百余人はもとより、五万市民をして大火のない住みよい大館を創るための大きな力ぶとなり契機となったといえます。

そこで大館市の歴史に消えることのない華々の大業たる事業の完成を期して、その復興を祝うとともに、永らくうずもれていた大館市の物産や観光資源を広く内外に紹介するなど、多彩な、そして総合的な記念祭をとり行い不景気風も厄神もフッ飛ばして、新気一転、力強い発展への巨歩を踏出すことになったもの。

会場には城南小、桂城小、市営球場が当てられるほか、全市を開放して行い、展示会各種の競技大会、芸能大会など祭典行事の準備は着々すすめられています。主な祭典行事の内容は次の通りおり

◆展示会関係◆
①工芸品展示会
②工芸参考品展示会
③大館市物産見本市
④観光と土産品展示会
⑤地下資源展示会
⑥電気と生活展
⑦森林と生活展
⑧農業展
⑨酪農振興展
⑩農機具展
⑪水道と生活展
⑫復興大館市の展望
⑬モデル住宅展
⑭住宅と家具展
⑮建築資料展
⑯児童作品工夫展
⑰全国統計図表展

◆競技会関係◆
①秋田県相撲製作競技会
②秋田県建具製作競技会
③美容コンクール

◆体育関係◆
①第四回リレーカーニバル
②秋田、青森、岩手選抜高校野球大会
③大館市、鹿角対抗庭球大会
④第三回大館、北鹿総合バレーボール大会
⑤第三回県北中学校対抗卓球大会
⑥市内中小学校学芸会
⑦秋田犬展覧会
⑧花火大会

◆諸会合関係◆
①秋田県市長会
②秋田県八市財務協議会
③全県森林組合大会
④八市議長会
⑤八市選挙管理委連合会総会
⑥全県女子青年幹部研究会
⑦北海道東北ブロック消防大会
⑧県内商工会議所会議

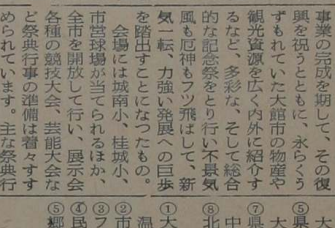
◆芸能関係その他◆
①大館、十和田、八幡平、三湯温泉紹介
②市民盆踊大会
③フオークダンスの夕
④民謡大会
⑤郷土芸術鑑賞会

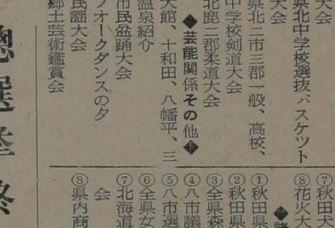
猫の手も借りたい忙しい農家のこの頃三早加熱育苗とかビニール畑苗代とか、苗代半作といわれるごとく、熱の入れ方もひとしお、洗石に米作りのスタートも早い。

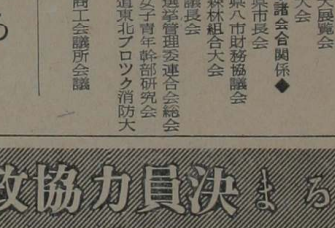
八万石の米所大館の田植は今たけなわ早苗持つ手にも植えるこの一株、一株にも、秋豊作の稔いを秘めて心ときめか。

冷害型といわれる気象予想に心配も少くないが、〝豊作は三年つづかず〟の定説を軽くノックアウトした今日の技術で八万石は平年作としたいもの。

（写真は五月二十日池内田圃での田植風景）







写真説明 ①大町から田町方面左側 ②大町から銀治町方面右側 ③大町（銀治町に向つて）左側、完成なった防火建築群。

總選挙終る

投票率前回より減る

五月二十二日に執行された二大政党下初の衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官国民審査の大館市における投票及び開票の結果は次のとおりです

◆投票状況
▽選挙当日の有権者数
男二一、〇六二人、女二一、七一九人、計二、七八一
▽投票者と投票率
男二、二六三人（八一・四二％）女一、七八九人（七〇・五一％）計四、〇五二人（七五・六八％）
投票率は前回（三〇年二月二十七日）の八二・五〇％より六・八二％低く男女別では、男四・七％、女八・一〇％のようにそれぞれ低くなっています。

◆開票結果
開票は二十三日午前七時から城南屋内体操場で行いました。
▽投票総数二四、〇三〇票
▽有効投票二三、八〇四票
▽候補者別得票数
石田博英（当）一二、七九〇
鈴木一（当）五、三一一
石山権作（当）三、三六〇
須磨弥吉郎（次）七一一
柳谷清三郎（当）六六三
宮越庄太郎　六〇九
三浦雷太郎　二七七
渋谷倉蔵　八四
最高裁判所裁判官国民審査
▽投票者数と投票率
男一二、二五〇人（八一・三三％）女一一、七九九人（七〇・四五％）計二四、〇二九人（七五・六一％）
▽投票総数二三、九九二票
▽有効投票二一、〇〇二票
▽審査された裁判官別、○内は罷免を可とするもの
◇高橋潔一八二八（二七二〇）◇垂水克己一八三八（二六七七）◇河村大助一八二四八（二七五四）◇奥野健一八〇五一（二九五一）◇下飯坂潤夫一八二八（二七二〇）

行政協力員決まる

大館市規則第十号として昨年七月一日公布施行されました「大館市行政協力員設置規則」の定めるところに従って本年四月皆様から区域内住民の総意を反映した方法によって規則制定後初の行政協力員の推せんを行って頂きましたが、このほど別表協力員名簿の如く百五十一名の委嘱を終えました（但し町内事情等により推せんのなかった八町内については市長の選任委嘱による）新任の協力員の方々は今後二ヶ年間その職務を担当することになっています。

行政協力員設置の目的は申すまでもなく市の行政を市民の皆様に適確に浸透し、市政を正しく理解して頂くことによって行政能率の向上を図るとともに、皆様の市政に対する建設的な御意見を反映したよりよい自治行政の運営によって明るく楽しい共同生活を営むため、市役所と市民との間に立ってこれがとりなしをして頂こうというものであります。協力員の仕事については宜しく御協力下さい。

お詫び
「市勢」欄は本号スペースの関係で休載しました。悪しからず御了承下さい。

町内名	協力員氏名	町内名	協力員氏名	町内名	協力員氏名
大館地区五十名		桂城	工藤準豊	坂子石	菅原一郎
日景町	川口四区	金坂	筒井宇助	向羽立	伊藤良助
赤館	斎藤政蔵	根本勇夫	片岡久一	部垂町	伊藤貞蔵
相染町	仲谷五郎	大通	木村栄蔵	鳴滝	佐藤精二
桜町	桑名健道	中通	木村弘一	谷地町	浜松富蔵
一心院	佐藤清次	山神台	伊藤清治	釣関口庄右ヱ門	
向町	豊沢有三	長面	佐々木半次郎	池内	戸田政蔵
長倉町	松原フミ	長面袋	上村清利	小館花	伊藤幸二郎
愛宕町	田堰チヤ	商人留	貝森喜一	舟場	釜谷三八郎
古川町	男沢丈夫	松峰	畠山一志	根下戸	田中清太郎
大下町	石田清太郎	松木一区	菅原三郎兵ヱ	金谷	菅原和吉
鉄砲場	大森銀治	二区	佐藤喜作	羽立	菅原松次
武田	金吉	沼館一区	桜庭貞夫	沢山	藤原孝治
通町	石田助太郎	二区	田山由太郎	二井田地区十一名	
独鈷町	山内笑治	二区	長木地区二十二名	下村	柳谷三郎
川原町	難波助太郎	上岱野	藤木吉五郎	町	嘉成貞利
五丁目	築館米三郎	下岱野一	田中利市郎	節	仲沢佐吉
四丁目	成田良助	二	伊藤政雄	小林与吉	
三丁目	伊藤政雄	二区	石田源次郎	小坪川原	小林与吉
二丁目	木村隆一	二区	石田助太郎	小林与吉	
〃一区	小坂喜代松	四区	田中福次郎	高村中台	田幡兵一
〃二区	木村欣一	東二ツ屋	田中徳治	四羽出	小畑千代三郎
〃三区	谷地田吉男	宮袋	伊多波梓一	下川原	秦清志
〃四区	小坂英隆	本宮	小沢鉄之助		
〃五区	富樫正一	戸田子	小茂内	大茂内	中村卯之松
清水町	佐々木正治	高橋三次郎	前田	芳賀久助	
中道	川連金二郎	簑ノ神	田村金四郎	杉沢	武田桂助
栄町	近藤弥宗治	大子内	斎藤七郎右ヱ門		
田畑	田畑文治	小雪沢	川田久明	真中地区八名	
末広町	後藤長之助	大明神	田畑一男	櫃	崎
斎藤金次郎	新沢	佐々木正一	高戸谷	虻川耕一	
花岡	嘉男	赤沢	赤石		
石山権作（当）	三、三六〇	黒沢	斎藤千代松	平泉喜三郎	
須磨弥吉郎（次）	七一一	板沢	石戸谷鎗吉		
柳谷清三郎（当）	六六三	小袴	佐藤稔		
宮越庄太郎	六〇九	大披	武田勝治		
三浦雷太郎	二七七	出川	佐藤正隆		
渋谷倉蔵	八四	下川原	工藤勇五郎		

町内名	協力員氏名	町内名	協力員氏名	町内名	協力員氏名
新富町	和田為孝	御坂	斎藤稔	東新	小笠原喜三郎
常盤木	椿田利喜司	石川	石田武雄	〃	斎藤一男
昭和町	山田吉三郎	二ツ屋	石川忠	中町	高橋倉蔵
神明町	千葉哲雄	イモガ岱	浪岡忠之助	上新町	加賀谷定治
南神明町	小松茂太郎	下川沿地区十八名		〃	斎藤玉吉
東新	小笠原喜三郎	〃	斎藤伊右ヱ門	平内	近藤玉吉
新地	越前哲郎	〃	片山一区	下町	畠山忠一
南町	畠山政治	〃	斎藤一男	千葉未吉	
田代町	横井信吉	〃	斎藤幸雄	上町	高橋倉蔵
馬喰町	木村貞蔵	餅田一区	村尾五六	上新町	加賀谷定治
中町	栗盛良治	二区	高清水直別	黒田長治	
新町	岩沢米四郎	二区	虻川竹蔵	尻	斎藤常世
桐沢	成田幸蔵	立花一区	山田渡	赤石沢	佐々木ヨネ
東	菅原忠助	二区	鎌田多兵衛	葛原	佐藤誠治
泉迎内地区十八名		二区	中嶋寿一	猿間	奈良一郎
小釈迦内	猪又栄助	川口一区	富樫金太郎	軽井沢	鈴木長治
〃	〃	二区	小林喜代治	曲田	畠山治造
〃	〃	三区	斎藤寿美	道目木	奈良吉右ヱ門
				浦山	佐々木定蔵

町内名	協力員氏名
シシガ谷二区	田中四方蔵
横岩	佐藤俊次
大道下	工藤三郎
上川沿地区九名	
谷地	中山悦二
餅田	佐々木茂太郎
関口庄右ヱ門	
池内	戸田政蔵
小館花	伊藤幸二郎
釜谷三八郎	
田中清太郎	
菅原和吉	
菅原松次	
藤原孝治	